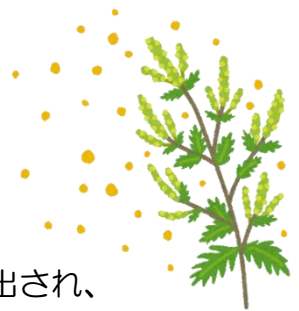


秋の花粉症

夏の終わりから秋にかけて目が充血したり、かゆくなったりする…もしかしたらそれは秋の花粉症かもしれません。

日本人の約半数を悩ませていると言われている花粉症。春に猛威を振るっているイメージの強い花粉ですが、実は夏から秋にかけても多くの花粉を飛ばしている植物が存在します。その一つがブタクサです。

ブタクサは道端でよく目にすることもある草丈1～2メートルほどの植物で、1961年に日本で初めて発見された花粉症はスギやヒノキではなくブタクサが原因だったそうです。



体内に侵入した花粉に反応してヒスタミンなどの化学物質が放出され、目のかゆみや充血、鼻水など様々な症状が引き起こされる花粉症。悪化してから治療を始めるのではなかなか症状は改善しません。抗アレルギー薬は効果が表れるまでに約二週間ほどかかるため、花粉の飛散が活発になる時期の二週間ほど前から病院で点眼などの初期療法を行うことで、症状を大きく軽減させることができます。 早め早めの受診がとても大切です。

愛知三の丸クリニックの眼科は
毎週月曜日と木曜日 13:00～15:00に診療を行っています。
ぜひ一度、お気軽にお問い合わせください。



診療受付時間 月・木 12:50～15:00
予約受付時間 月～金 9:00～17:00
予約専用電話(医科) 052-961-7012

愛知三の丸クリニック

〒460-0001
名古屋市中区丸の内 3-2-1
代表 052-961-7011